

阿波市議会だより

第69号

年4回発行 [令和5年12月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



令和5年 第3回

阿波市議会定例会の概要

第3回定例会は、8月28日から9月21日までの会期で開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、全国市議会議長会からは、笠井一司議員が表彰され、四国市議会議長会からは、三浦三三議員、吉田稔議員、松村幸治議員が表彰されました。続いて町田市市長から、一般県道宮川内牛島停車場線開通式や、戦没者追悼式の開催等についての行政報告と、国営かんがい排水事業吉野川北岸二期地区について等、国への要望事項について説明がありました。また、令和4年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定、令和5年度阿波市一般会計、及び特別会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。代表・一般質問は9月7日、8日の2日間にわたり行われ、11人が市政全般について理事者の考えを問い、環境・建設・地方創生・商工観光・教育・健康福祉・子育て支援・財政関係等について議論しました。12日に決算審査特別委員会、13日に総務、14日に文教厚生、15日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査報告があり、市長提出議案及び請願をいずれも可決・認定及び採択しました。追加議案として、人事案件20件、委員会発議の意見書1件が提出され、いずれも同意・適任及び可決しました。

代表質問

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 新ごみ処理施設建設計画について、燃料化方式での計画遂行をどのように考えているのか。これからの計画で市民に約束できることは。

答 燃料化方式の懸案である固形燃料の受入先についても一定の目的がつき、経済性や、温室効果ガス削減が見込まれるなど、燃料化方式が本市にあった良い方式であると考えている。

問 津田川島線の奈良坂大門間は阿波市庁舎につながる非常に重要な道路だと思いが、県との対応はどのように進んでいるか。

答 市道への移管について県東部県土整備局と協議を開始したところであり、諸般の問題を解決するまでには一定の期間を要すると考えており、引き続き県側と協議を行っていく。

問 支所の運営について。市の人口が3万5,000人を切った中、支所の運営費に約1億6,000万円も投入するのはいかなるものか。今後どのように考えるか。

答 支所機能の在り方を十分検討し、業務内容の見直し、さらには適正な職員配置などで経費削減に努めていく。

問 今後の観光行政についての考えは。

答 公園が持つ潜在力を最大限に生かし、新しい人の流れづくりに向けた取組を検証していきたいと考えている。

藤本 功男 議員
(はばたき)



問 新ごみ処理施設の入札不成立の検証結果はどうなっているのか。

答 昨今の急激な物価、資材、燃料費の高騰や円安など、これまでの社会情勢からは十分に想定できなかったことが顕在化し、事業者が民営で長期間の運営を行うことにリスクを感じたものと推察している。

問 入札を成功に導くために、どのような準備をすすめているのか。

答 事業方式を公設公営方式に変更することにより、コストは上がるが、運営に関する事業者のリスクを軽減し、安定的な運営を図りたい。

問 空き家の現状はどうなっているのか。

答 本市の空き家は、昨年度1,815戸であり、5年間で約400戸増加している。

問 改正空き家対策の推進に関する特別措置法における市の対応は。

答 管理不全空き家の維持管理について、市長が指導・勧告し、所有者に対し固定資産税の住宅用地特例の解除が可能になる等、特別措置法の改正による措置を適切に活用していく。

問 今後、空き家対策をさらに進めるための市の具体策は何か。

答 各種補助事業の周知、所有者への管理義務意識の醸成、空き家の発生予防や利活用についての対策に加え、県外に居住している所有者が容易に空き家管理を行えるよう、管理サービス支援について検討している。

問 現在、ICT支援員が様々な機種を導入した他市町の情報収集に努めており、次期端末の選定を慎重に検討していく。

答 現在、ICT支援員が様々な機種を導入した他市町の情報収集に努めており、次期端末の選定を慎重に検討していく。

吉田 稔 議員



問 本市のマイナンバーカードの交付状況、及び国民健康保険のマイナンバーカードを利用しているのか。今後の方針は。

答 7月末時点で交付率は74.7%。7月1日現在の国民健康保険の加入者7,933人の内、マイナンバーカードによる保険証登録率は約57%である。引き続き普及啓発に努めていく。

問 新型コロナウイルス感染症は法的に5類に移行されたが、本市の学校教育はどのように変化しているのか。

答 基本的な感染症対策は引き続き講じながらも、以前のようにな学びや様々な交流が活発に行われるようになってきている。

問 小中学校に配布されたタブレットの故障が多いようだが、今後の更新はどのように考えているのか。

答 現在、ICT支援員が様々な機種を導入した他市町の情報収集に努めており、次期端末の選定を慎重に検討していく。

答 現在、ICT支援員が様々な機種を導入した他市町の情報収集に努めており、次期端末の選定を慎重に検討していく。

一般質問

野口加代子 議員
(はばたき)



問 本市に設置している消費生活センターの運営状況について。

答 1カ月平均約20件の相談が寄せられ、専門的な知識を有した消費生活相談員が助言や情報提供を行っている。

問 今後のワクチン接種について。

答 国の予防接種・ワクチン分科会において、令和6年度以降の接種について議論され、検討が行われる。今後の国の動向に注意していく。

問 高齢者対策について。

答 団塊の世代が75歳を迎える2025年、本市の高齢化率は39.3%と予測されている。地域包括ケアシステムの構築に加え、介護予防や健康づくりなど、健康寿命を延ばす取組を一層推進していく。

問 (仮称)阿波スマートインターチェンジの進捗状況と、完成後の地域活性化について。

答 工事は順調に進捗している。新鮮な農産物の流通、新たな企業誘致、観光のアクセス向上、災害時の迅速な救援活動など、地方創生の起爆剤として様々な効果が期待できる。

問 新型コロナウイルスの接種状況について。

答 65歳以上の方や64歳以下の基礎疾患を有する方などが対象の春開始接種の接種率は、8月末で72.2%。5歳から11歳までが対象となる小児接種の接種率は、初回20.2%、3回目以降2.5%。生後6カ月から4歳までが対象の乳幼児接種は、初回接種率1.3%。

問 秋開始接種の接種体制について。

答 9月25日から市内接種医療機関で、流行中のXBB-1.5株系統含有1価ワクチンを用いた個別接種を開始する。

問 森林環境税と税の算定基準及び活用・執行状況は。また、今後どのように活用するのか。

答 算定基準については、森林環境税の1割が県、9割が市町村に配分。そのうち10分の5を私有林・人工林面積、10分の2を林業就業数、10分の3を人口で按分され、譲与されている。4,488万円のうち約88%を執行し、残りの544万円は基金に積み立てている。今後は小・中学校への木製品の配布や本市産・県産材の利用推進、木育・植樹などに活用していく。

問 がん検診・特定健診について、受診率の送付及び受診率は。また、受診率を高める施策は。

答 お知らせと申込書を配布し、申込みのあった方に受診券や問診票を送付している。過去3年間の受診率の平均は、乳がん8.3%、子宮頸がん7.6%などで、特定健診は36.5%となっている。受診率向上の取組として、電話による受診勧奨やチラシの配布等を行っている。

問 空き家・空き地の雑草等に対し、どのような対応を取っているのか。また、相続未登記や所有者不明の空地への対策は。

答 所有者等に、文書で除草や枝打ちなどの管理を依頼している。相続未登記などの土地については、市が具体的に取り組むことは困難である。

問 公共施設予約システム導入について。書かない窓口の検討は。

答 予約機能が整備でき次第サービスを提供する。また、書かない窓口を含め様々なデジタル化について研究を重ねていく。

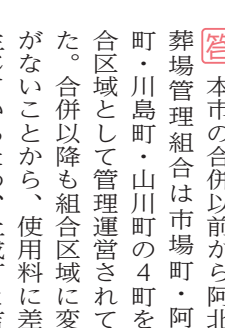
後藤 修 議員
(はばたき)



問 健全化判断比率を含めた令和4年度決算の特色について。

答 歳入面では、自主財源となるふるさと納税を拡充。歳出面

坂東 重夫 議員
(はばたき)



問 健全化判断比率を含めた令和4年度決算の特色について。

答 歳入面では、自主財源となるふるさと納税を拡充。歳出面

中野 厚志 議員
(日本共産党)



問 土成町・吉野町の住民が阿北火葬場を利用する場合、使用料助成制度はどうなっているのか。

答 本市の合併以前から阿北火葬場管理組合は市場町・阿波町・川島町・山川町の4町を組合区域として管理運営されてきた。合併以降も組合区域に変更がないことから、使用料に差が生じているため、土成町と吉野町の方に市場町・阿波町の方と負担が等しくなるよう助成金を交付している。

問 本市の生活排水対策の現状

では、エネルギー関連や物価高騰の影響を受けた市民へ経済的支援を実施。実質収支は8億923万8,000円の黒字となった。健全化判断比率は、早期健全化基準の範囲内であり、健全な財政状況を維持している。

問 市長になり取り組んだこと、令和4年度決算を踏まえた今後のまちづくりについて。

答 コロナ禍や物価高騰への迅速な対策、職員の人材育成、市内で活動している団体、グループ、高校生の部活動を対象とした阿波市まちづくりミーティングの開催に向け、準備を進めている。持続可能な財政運営、市民が主役のまちづくりの実現に向け、全力で取り組んでいく。

問 高齢者福祉の更なる充実・強化について。

答 令和5年7月末現在の阿波市の高齢化率は、38.5%となっており、徳島県の平均より高い水準で推移している。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者福祉の充実・強化に取り組んでいく。

問 どうなっているのか。
答 国の地方創生活水処理施設整備推進交付金を活用するため、令和2～6年度を計画期間とする豊かで美しい環境保全と農業が育まれる活力あるまちづくり計画を策定し、合併処理浄化槽の普及と農業集落排水施設の機能向上に取り組んでいる。

問 学校・公民館・図書館の教育施設の洋式トイレの割合はどれくらいか。今後のトイレ改修の予定はどうなっているのか。
答 学校が68・7%、公民館・図書館が83・9%の洋式比率になっている。今後の予定として、今年度、吉野中学校屋内運動場、市場公民館、阿波図書館で大規模改修工事を行う際に、洋式化や、多目的トイレの改修を行う。阿波中学校屋内運動場のトイレ改修の計画もある。

武澤 豪 議員
 (志政クラブ)

問 児童、生徒数が減少しているが、教育委員会としてどのように考えているのか。小中一貫教育の取組予定はあるのか。
答 少子化に対応した活力ある学校作りが求められている。学校の標準規模と複式学級への対応、小規模校によるメリット、デメリットを考慮することが重要であると考えている。小中一貫教育は、それぞれの地域の実情に応じた最適な学校教育のあり方や、学校規模を主体的に検討することが必要である。国や県の先行的な取組を踏まえつつ、保護者や地域の方々との意見交換を図りながら、研究していきたい。



現在居住している方で、引き続き5年を超える期間市内に居住する意思がある方に、返還金の一部を助成する奨学金等返還支援助成金事業がある。



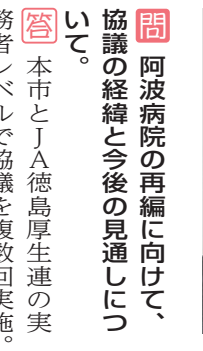
櫻原 浩二 議員
 (阿波みらい)

問 粗大ごみをリサイクルセンターへ持ち込めない方の対応について。
答 家族等の支援を受けることができない高齢者世帯等に配慮した粗大ごみの戸別収集を、一日も早く市民に示すことができると、鋭意検討していく。

問 災害時協力井戸の現地確認の結果について。
答 災害時協力井戸の登録数は令和5年4月1日現在101件であり、職員が順次調査をしている。現段階で調査した井戸については安全に利用できる状態であることを確認している。年度内に全ての井戸を確認していく。

櫻原 伸 議員
 (志政クラブ)

問 阿波病院の再編に向けて、協議の経緯と今後の見通しについて。
答 本市とJ A徳島厚生連の実務者レベルで協議を複数回実施。内容は調整中のため、答弁は差し控える。今後の見通しについては、実務者レベルでの協議がまとまり次第、J A徳島厚生連が阿波病院再編計画(案)を作成し、東部地域医療構想調整会議において合意を得る必要がある。

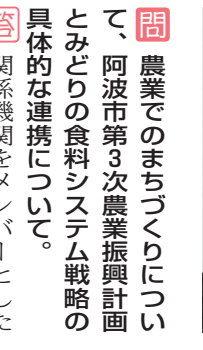


問 毎年実施している通学路危険箇所合同点検の改善内容と今後の取組について。
答 令和4年度では43か所を点検し、39か所で対策を講じている。改善されていない箇所についても関係機関と連携し改善に向けた取組を実施している。点検結果や対策については、認識を共有するため対策一覧表及び対策箇所図をホームページに掲載している。

問 阿波市独自の農業支援策と成果について。
答 平成23年度から阿波市農業振興事業を継続的に実施、現在では6次化産品加工施設整備など17にわたる事業を実施している。成果としては、新規就農者の育成をはじめ、農業施設や機械の導入促進など、阿波市農業振興に大きく貢献していると認識している。

黒川 理佳 議員
 (無所属)

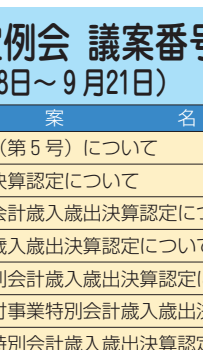
問 農業でのまちづくりについて、阿波市第3次農業振興計画とみどりの食料システム戦略の具体的な連携について。
答 関係機関をメンバーとした阿波市みどりの食料システム推進協議会を設立し、グリーンな栽培体系への転換サポート事業を開始している。今年度は有機農業に対する消費者理解の醸成の取組を実施する予定。



問 みどりの食料システム戦略を活用した給食食材の提供について。また、農と教育が連携した阿波市独自の取組は。
答 有機農産物の生産量の確保や有機JAS認証などの課題と向き合いながら、関係機関と協議し導入に取り組んでいく。農と教育の連携については、子どもたちの成長段階に合わせた農業体験や先進技術など、農業の楽しさや重要性の意識を育んでいく。

問 農業での観光戦略、また、土柱周辺の整備について。
答 議員提案の体験型教育旅行については情報収集を行い研究を進めていく。土柱周辺の整備については、各種規制を所管する機関と協議し、対応していく。

問 官民連携の業務委託型短時間ワークショップ事業として、ニーズなどを調査していく。不登校に対する取組は。
答 新しい取組の模索やスクールカウンセラーの増員など、積極的に支援していく。



問 新ごみ処理施設の現状と今後について。
答 応札がなかったことを受け、公設公営方式の案を1市2町で検討し、全力で取り組んでいく。

問 新ごみ処理施設建設推進調査特別委員会
答 産業建設常任委員会視察研修
 第18回徳島県西部市議会連絡協議会研修会

活動状況報告

- 委員会等の開催状況(9月～11月)**
 - 令和5年 9月7日 令和5年第3回阿波市議会定例会本会議(代表・一般質問)
 - 8日 令和5年第3回阿波市議会定例会本会議(一般質問)
 - 12日 議会改革特別委員会
 - 13日 決算審査特別委員会
 - 14日 総務常任委員会
 - 15日 文教厚生常任委員会
 - 15日 産業建設常任委員会
 - 21日 令和5年第3回阿波市議会定例会本会議(閉会)
 - 10月16日 全員協議会
 - 10月16日 新ごみ処理施設建設推進調査特別委員会
 - 25、26日 産業建設常任委員会視察研修
 - 11月2日 第18回徳島県西部市議会連絡協議会研修会
 - 6、7日 総務常任委員会視察研修
 - 9日 広報特別委員会
 - 13、14日 文教厚生常任委員会視察研修
 - 22日 阿波市議会議員研修会
- 産業建設常任委員会視察研修**
 - 10月25～26日 奈良県御所市 6次産業化・地産地消推進協議会の取組について
 - 京都府綾部市 市営住宅の供給方針について
- 第18回徳島県西部市議会連絡協議会研修会**
 - 11月2日 「議会議員のコンプライアンス～ハラスメントの防止を中心として～」と題した研修会を開催
- 総務常任委員会視察研修**
 - 11月6～7日 千葉県館山市 リノベーションまちづくり推進事業について
 - 千葉県千葉市 あなたが使える制度お知らせサービス
 - 区役所窓口改革
 - 災害備蓄品の保守管理業務について
- 文教厚生常任委員会視察研修**
 - 11月13～14日 岡山県総社市 障がい者千五百人雇用事業について
 - 岡山県和気町 英語教育・学習支援に関する先進的な取組について
- 阿波市議会議員研修会**
 - 11月22日 新ごみ処理の現状と課題についての研修会を開催

令和5年第3回阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (8月28日～9月21日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第48号	令和5年度阿波市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第40号	令和4年度阿波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第41号	令和4年度阿波市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第42号	令和4年度阿波市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第43号	令和4年度阿波市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第44号	令和4年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第45号	令和4年度阿波市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第46号	令和4年度阿波市御所財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第47号	令和4年度阿波市水道事業会計決算認定について	認定
議案第49号	令和5年度阿波市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第50号	令和5年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第51号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第52号	阿波市印章登録条例の一部改正について	原案可決
議案第53号	阿波市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
報告第5号	令和4年度阿波市健全化判断比率及び資金不足比率について	—
請願第2号	森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しに関する請願	採択
議案第54号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第55号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第56号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第57号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第58号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第59号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第60号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第61号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第62号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第63号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第64号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第65号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第66号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第67号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第68号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第69号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第70号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第71号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第72号	農業委員会委員の任命について	同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
発委第2号	森林環境譲与税の譲与基準を見直すよう求める意見書	原案可決
発議第2号	新ごみ処理施設建設推進調査特別委員会設置について	原案可決

議会だより 編集雑感

議員になって6年目。議員の仕事は、市民の幸福な生活を保障し、更に向上させることであると考える。健康で文化的な生活を営むには、持続可能な社会の実現に取り組んでいかなければならない。例えばSDGsの中の一つに安全な水とトイレを世界中にという目標がある。今回の答弁でも、生活排水対策や、公的施設のトイレの改修などへの取組について説明があった。今後も誰も取り残されない行政サービスの持続を推進していきたい。(中野厚志)